

## 予 算 要 求 資 料

令和 5 年度 3 月 補正 予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

### 事業名 高病原性鳥インフルエンザ防疫対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内4159)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 111,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	111,000	50,508	0	0	0	0	0	0	60,492
決定額	111,000	50,508	0	0	0	0	0	0	60,492

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・令和 6 年 1 月 5 日に山県市内の養鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、国の「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、防疫措置 (殺処分・埋却等) を行う必要がある。

### (2) 事業内容

- ・高病原性鳥インフルエンザの発生農場等において、防疫措置を実施する。
  - ・農場内での防疫作業：鶏の殺処分、埋却、汚染物の処理、農場の消毒等
  - ・農場周辺の作業：移動・搬出制限区域内へ出入りする車両の消毒ポイントの設置

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・家畜伝染病予防法の規定に基づく。
  - ・国の全額負担：家畜防疫員旅費、検査薬品費、消毒薬品費
  - ・国の半額負担：動物用生物学的製剤費、防疫資材費、埋却費
  - ・県の全額負担：その他

### (4) 類似事業の有無

- ・無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	500	医師等報償費
旅費	6,500	防疫作業従事者等旅費
需用費	39,900	防疫作業用消耗品費、燃料費
役員費	1,500	防疫作業用資材運搬費等
委託料	55,000	埋却地掘削・埋戻業務、消毒ポイント設置・運營業務等
使用料・賃借料	6,300	防疫作業用機材、バス・レンタカー等借上料等
負担金	1,300	看護師等派遣負担金
合計	111,000	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略(R1～5)
  - 2 健やかで安らかな地域づくり
    - (2) 安らかに暮らせる地域づくり
      - ④災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・「ぎふ農業・農村基本計画」(R3～7)
  - (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり
    - ④家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

### (2) 国・他県の状況

- ・他県においても発生時には同様の対応である。

### (3) 後年度の財政負担

- ・伝染病疾病の発生状況により、後年度も財政負担が必要。

### (4) 事業主体及びその妥当性

- ・家畜伝染病予防法により都道府県が事業主体と定められている。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国の「高病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、防疫措置（殺処分・埋却等）を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

--

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家畜伝染病予防法第3条の2第3項により、高病原性鳥インフルエンザが発生した場合には、都道府県において、国の防疫指針に基づき防疫措置を実施することとされている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内での再発を防止するため、飼養衛生管理の再徹底、継続的な消毒など、農場防疫を強化・徹底する必要がある。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各農場において、衛生管理基準の遵守、徹底がなされるよう引き続き指導等を行っていく。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】